

北区の部屋だより

2025年 11月第195号



編集幾行:北区立中央國書館『北区の部屋』〒114-0033 北区十条台 1-2-5 直03-5993-1125



と商店を知りたい



以前、図書館利用者の方からこんな質問を受け ました。「祖父が北区で食品工場を経営していた ので、詳細を知りたい」というものです。幸いに も、当時の住所や昭和30年代頃まで経営してい たことを利用者の方が覚えていらっしゃいまし た。

では、上記のような質問を受けた際に、どのよ うな資料を調べるとわかるでしょうか。一例では ありますが、『北区商工名鑑』を使って調べると いう手段があります。『北区商工名鑑』は、北区商 T名鑑編纂委員会によって北区内の商工業の実 態を把握し、宣伝活動に資することを目的として 作成されたものです。

今回使用したのは 1955 年(昭和 30) に作成・ 発行されたもので、1954年(昭和29)10月当 時に北区にあった工場や商店、その他教育施設な どを収録しています。ただし、資料の中に「木備 脱漏の点無しとしない」との記載があることから、 当時の北区全体の商工業名を必ずしも網羅出来 ているわけではないことに留意しながら使用す る必要があります。

資料には、商店・工場名、営業主、住所、電話 番号、製造品の情報が載っています。商業・工業・ その他(自由業や建設業など)・公共施設という大 まかな分類に分けられ、さらに取り扱い品目ごと

にわけられています。冒頭の質問は食品工場との ことでしたので、「食料品工業」という項目で調 べていきます。食料品と一口に言っても様々で、 精穀(精米)・製粉・製麺、調味料、菓子製造、製 氷・飲料品、佃煮・漬物類、その他の食品(こん にゃく製造、アイスクリーム製造、納豆製造など) と細分化されており、何を製造していたのかわか るのであれば、すぐ見つけることができるでしょ う。

年代としては非常に限定的にはなりますが、 「北区の部屋」にはこういった資料もあります。 家族が北区の工場に勤務していたらしい……と いうざっくりとした情報しかわからない時でも 可能な限りは力になりますので、気軽にお声がけ ください。

ちなみに冒頭の工場ですが、この名鑑に記載が あり、無事返答することができました。

【地域資料専門員 佐久間乙葉】





滝野川の紅葉

■展示期間 10月24日(金)~11月26日(水)

■展示場所 「北区の部屋」企画展示コーナー



石神井川沿い、取り分け滝野川地域は江戸・東京近郊の紅葉の名所として広く知られていました。今月の展示では、飛鳥山の劣らぬほど多くの行楽客を集めてきた滝野川の紅葉について紹介します。秋の行楽シーズン、紅葉を探して石神井川散策などはいかがでしょうか。



「北区の部屋」の資料、提供しています

「北区の部屋」では、北区に関する様々な資料を所蔵しています。 「北区に関するものは何でも」を合言葉に、古い写真、絵葉書など、 本以外のものも積極的に集めており、それらの資料を必要とする方々に 提供するサービスを行っています。



図書館になる前の赤レンガ棟

今年は、戦後80年という節目の年。テレビ番組の制作会社や出版社など 様々なメディアからのお問い合わせや取材が増えました。北区は戦争遺跡が多く残っており、北区 立中央図書館の赤レンガ棟もその 1 つです。こうしたことから、注目が高まっているのでしょう。 北区の部屋では戦中・戦後の写真やくらしがわかる資料を提供していますので、「北区立中央図 書館提供」といった資料をメディアで目にする機会が多くなるかもしれませんね。

【 宝際に北区の資料等が使われている本 な 【

・『昭和30年・40年代の北区』 三冬社/編 三冬社 2009年

書誌番号 B10859597

•『今昔写真と路線分析 都電荒川線の全記録』 中村建治・森川尚一/著 フォト・パブリッシング 2021 年

書誌番号 B11964416

•『東京人』 2022年8月号 都市出版/編 都市出版

•『江戸の借金~借りてから返すまで~』 荒木仁朗/著 八木出版 2023年

•『目で見る北区の100年』 黒川徳男・保垣孝幸/著 郷十出版社 2013年

書誌番号 B13239750 書誌番号 B13291364 書誌番号 B13115605

【*資料提供の依頼の多い 3点*】



造幣廠火工廠(本部)絵葉書 (現中央公園文化センター)



赤羽駅舎落成記念 昭和 28 年(1953)4 月 手川文夫氏撮影



赤羽駅東口広場(ヤミ市) 渡辺肇氏撮影